

自分のなかにある新しい自分を見つける

始業式・入学式から3週間が経過しました。1年生は少しずつ中学校生活に慣れてきたようです。4月22日は1年生の部活動への入部届の提出締め切りでした。毎日の学校生活の中では、全校生徒が元気に頑張っている様子が多くの場面で見られます。毎朝、朝読書から一日がはじまり、集中して授業に取り組んでいます。帰りの会では夕学がしっかりと行われ、放課後は、3年生のリーダーシップのもと、間近に迫った支部選手権大会や交流試合等のためにということもありますが、部活動に熱心に取り組んでいる姿が見られます。

さて、中学校時代は年齢的にも激動の時だと言われています。文豪のゲーテは、それを『疾風怒濤』（しっぷうどとう）という言葉で表現しています。中学生は無限の可能性を持っているとも言われています。しかし、その言葉はよい可能性だけを意味しているものではありません。その逆の可能性も含んでいるとも言われています。今の中学校時代をどう生きるかは今後の人生にも大きな影響を与えます。だからこそ、玉幡中学校の全校生徒にとって、今このときは、一生を左右しかねない大切な岐路と言えます。中学校生活では、社会で生きて行くための土台を本気になって築かなければならない大切な時期なのです。そんな大切なときだからこそ、みなさんには「1年後の自分像」を見据えて生活を考えてほしいと願っています。

中学校で君たちがやることは

「自分のなか」にある「自分の知らない自分」を見つけていくことなんだ

さわやかなあいさつができる自分

「ハイッ!」としっかり返事ができる自分

その返事に心をこめることができる自分

宿題をやりぬける自分

授業に集中し、頑張ることができる自分

清掃にしっかりと取り組める自分

自己を見つめ、毎日の生活記録ノートにしっかりと書いて提出できる自分

夢や目標に向かって前進する自分

君のなかにもきっとあるにちがいない

そんな自分を見つけていくんだ



たった一度しかない中学校生活、縁あって出会いがあり、この一年を共に過ごすことになった先生方や仲間と新しい環境・教室で、自分を大きく変えてみませんか。自分を変える・・・、つまり成長すること。そして自分のなかにある新しい自分を見つけるということ。今日も授業や清掃などに取り組むみなさんの姿は立派でした。大きく成長するみなさんは、全員が可能性の塊です。



部活動、新たなドラマのスタート

中学校生活の大きな柱ともなる「部活動」ですが、上越教育大学が全国4000人の中学生に実施した研究データによると、部活動によって『子どもたちの社会的な絆の意識』が育つという結論が発表されています。また、部活動は学校に対する前向きな構えを育成し、それが間接的に、勉強に対する構えにも好影響を与えるという結果も出ています。実際に、部活動をしている生徒たちは学校の存在を肯定し、授業や行事、学校のルールや社会規範を守るといった部活動以外の生活にも適応していきます。またテスト前の勉強にかかる時間も部活動をしている生徒の方が長い傾向があるというデータも出ています。

わかりやすく言うなら、「部活動と勉強は両立する」→「部活動は勉強の邪魔にはならない」ということです。部活動をしていない子が、その時間に勉強をするとは限りません。むしろ、ブラブラと時間を消費し、時間の浪費が習慣化される場合があるのです。そして、時間管理の能力を育てる場面を逃し、集中力も高まらないまま成長する・・・、という危惧もあります。

部活動を通して仲間と喜びや辛さ、厳しさや悲しみ、時には仲間との衝突、そして達成感や感動などを、具体的に共有する体験が生徒たちの「社会的な絆の意識」を向上させ、魅力的な大人への成長へと結びつくきっかけとなると思います。いよいよ3つの学年がそろい、部活動の新たなドラマがスタートします。どうか、保護者の皆さまの温かいご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。



【玉中生と保護者の皆様方へ】

今回の3年生の修学旅行については、新型コロナウイルス感染拡大の可能性があり、修学旅行で3日間寝食を共にするという点で、市教委とも協議し、延期を決定させていただきました。苦渋の判断であったとはいえ、判断が遅くなり、3年生の生徒や保護者の皆様方には、大変なご心配をおかけすることになってしまいました。たいへん申し訳ありませんでした。今後の教育活動につきましても、感染症拡大の防止、生徒の健康と安全を最優先に実施してまいりますので、これからもご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

学校生活や健康面でご心配等がございましたら、各担任へご連絡ください。各ご家庭におかれましても引き続きお子様やご家族の方の体調不良等がございましたら、速やかに学校へご連絡いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

今後も最優先すべきことは、子どもたち、保護者の皆様方の心身の健康と安全であると考えます。皆様の心の安心・人権を守っていくためにもご協力をお願いいたします。冷静な対応を心がけていただくとともに、思いやりのある行動に配慮くださいますようお願いいたします。

新型コロナウイルスに感染するリスクは誰にでもあり、感染した本人や周りがつらい思いをすることは何があっても許されないことです。不確かな情報に惑わされず、正しい判断をこれからもしていただくとともに、SNSや噂話などの対応の在り方を含め、十分配慮した行動をとっていただきますよう、心よりお願い申し上げます。子どもたちへのお声かけもよろしくお願い申し上げます。

「やさしさと思いやり」の心で、今後も心豊かな玉中生の育成に努めてまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

玉幡中学校長